

付

録

久万町誌年表（平成年代）

西暦	年号	事項
一九八九	昭和六四年	<ul style="list-style-type: none"> ○一月、昭和天皇崩御、元号が「平成」となる ○三月、ふるさと旅行村開村一〇周年記念式典 ○三月、美術館開館及びフォーラム（シヤンタル・ブシヨン、池田満寿夫、岡崎球子）六〇〇名 ○四月、中村農道落成式 ○六月、林道サルロ菜畑線起工式 ○七月、参議院議員選挙 ○九月、第一回上浮穴郡身体障害者友愛のつどい（於ふるさと村） ○九月、りんご園開園式 ○一〇月、久万町生産物直売所（物産館みどり）起工式 ○十一月、上浮穴の観光を考えるシンポジウム ○十二月、久万創生プロジェクト会議 <p>県内では、参院選愛媛選挙区で自民党が敗北した。また玉ぐし料訴訟で違憲判決が出た。国内では、参院選でマドンナ旋風が吹き荒れた。また消費税が導入された。幼女連続誘拐殺人で、宮崎容疑者が逮捕されたのもこの年である。海外では、中国で天安門流血事件が起こった。</p>
一九九〇	平成二年	<ul style="list-style-type: none"> ○一月、高松宮杯第三二回西日本スキー競技大会（於美川村）

西暦	年号	事項
		<ul style="list-style-type: none"> ○一月二八日、二九日、西日本スキー大会に御臨席の三笠宮寛人殿下、上浮穴産業文化会館、町立美術館にお立寄り、御視察 ○二月、衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 ○三月、県林業試験場移転整備事業完了 ○三月、久万小学校楨谷分校閉校 ○三月、楨ノ川集会所落成式 ○三月、学校給食における学校・家庭・地域の連携推進事業 ○三月、久万町生産物直売所（物産館みどり）落成式 ○四月、物産館みどりオープン ○四月、凶荒予備組合一〇〇周年記念植樹 ○四月、ラグビー場起工式 ○四月、四国のみち完成ウォークラリー（ふるさと村〈美術館〉） ○六月、培土センター落成式 ○七月、株式会社「いぶき」設立総会 ○八月、公営住宅住安上団地起工式 ○八月、父野川簡易水道起工式 ○八月、直瀬幼・小校舎起工式 ○九月、台風一九号に伴う災害対策本部設置。三坂峠

西暦	年号	事項
一九九一	平成 三年	<p>通行止</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 九月、林道杖ヶ谷線起工式 ○ 一〇月、下直瀬集会所起工式 ○ 十一月、久万凶荒予備組合一〇〇周年記念シンポジウム ○ 十一月、愛媛県林業試験場落成式 ○ 十一月、直瀬房代野集会所落成式 ○ 十二月、特別養護老人ホーム久万の里起工式 ○ 十二月、愛媛県知事選挙 <p>県内では、総選挙で「自社時代」となった。多々羅大橋の着工で今治尾道間が全面通行できる見通しとなった。国内では、バブル景気が崩壊し始め、日本経済は不況時代へと突入した。ソ連のコンスタンチンチャンが札幌医大で皮膚移植手術を受けた。初の大学入試センター試験が実施されたのもこの年である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二月、上浮穴の市外局番が（〇八九二）に市内局番が（二けた）に変更された ○ 二月、久万町特別功労者表彰式（四名） ○ 三月、商業近代化事業起工式 ○ 三月、父野川簡易水道落成式 ○ 三月、久万高原ラグビー場落成式 ○ 四月、中予山岳流域林業活性化センター設置 ○ 四月、久万町長・町議会議員選挙 ○ 四月、久万木材市場五〇〇回記念市 ○ 四月、直瀬幼・小校舎落成式

西暦	年号	事項
一九九二	平成 四年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四月、国道三三三号線ゆずり合い車線開通式 ○ 五月、天体観測館起工式 ○ 六月、下直瀬多目的集会所落成式 ○ 七月、特別養護老人ホーム久万の里落成式 ○ 七月、商業近代化施設落成式 ○ 一〇月、過疎農道落成式 ○ 十一月、久万町特別功労者表彰（二名） ○ 十二月、第一回女性フォーラム <p>県内では、台風一九号による被害が五〇〇億円を超した。高速道路が西条まで開通し、新松山空港がオープンした。国内では、長崎の雲仙・普賢岳が二〇〇年ぶりに噴火し、死者、行方不明者が多数出た。また、ダイヤルQ2が社会問題化した。海外では、一月に湾岸戦争が勃発し、多数の死者が出た。また油田炎上で自然環境が破壊された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一月、農業集落排水施設超工式 ○ 二月、野地集会所落成式 ○ 二月、ピーマン三億円記念大会 ○ 二月、高齢者・若者センター起工式 ○ 三月、天体観測館落成式 ○ 三月、久万小学校北校舎昇降機設置 ○ 四月、久万町生涯学習推進構想樹立 ○ 四月、久万町人権擁護モデル地区指定設立総会 ○ 五月、ケビン入札 ○ 五月、久万町四河川の水質検査

一九九三
平成 五年

- 六月、高岡晋作氏勲五等瑞宝章受章
- 七月、JR久万駅問題専門委員が、高松JRへ陳情
- 八月、松山地区広域行政圏整備検討委員会
- 八月、集落排水事業地元説明会
- 八月、久万簡易水道改良工事起工式
- 八月、中村簡易水道起工式
- 九月、直瀬高齢者若者センター落成式
- 九月、町内小・中学校学校週五日制実施
- 九月、松山大学村上ゼミと合同研修会（商工会）
- 九月、久万高原の味と香りフェア
- 一〇月、ゲートボール場起工式
- 一〇月、県へき地教育研究大会（直瀬小）
- 一〇月、第三回全国森林サミット開催
- 一〇月、大成城跡落成式
- 一〇月、農林省・国土庁・自治省合同の中山間地域における現地調査
- 一〇月、日野泰氏自治大臣表彰受章
- 一二月、天体観測館ムーミンコンサート
- 県内では、瀬戸内海にさめが出没した。国内では、佐川事件で政界に激震が走り、政治不信が頂点にたつた。PKO協力が成立し、自衛隊をカンボジアに派遣した。海外では、アメリカ新大統領に民主党のクリントン氏が当選した。環境問題で地球サミットが開かれた。
- 一月、JRバス引継ぎ式
- 二月、広域基幹林道上林河之内線起工式

- 四月、二名で住宅火災
- 四月、菅生北村集会所落成式
- 四月、上畑岩川集会所落成式
- 四月、屋内ゲートボール場「すぱーく久万」落成式
- 五月、みどりのふるさと環境を守る審議会
- 五月、一般国道三三三号道路整備促進緊急総決起大会
- 五月、ふるさと農園開園式
- 六月、中学校統合問題特別委員会先進地視察
- 七月、オフトーク整備工事
- 七月、大雨洪水雷強風波浪濃霧注意報で、愛媛県災害対策本部設置。二名で住宅火災が相次いだ
- 八月、ネーチャーステイ（ふるさと旅行村）
- 九月、ささゆり通信（オフトーク）開局式
- 九月、台風一三号接近、災害対策本部設置
- 九月、久万高原観光りんご娘委嘱式
- 九月、ふるさとの森事業一〇周年記念
- 九月、下直瀬薬師堂火
- 一〇月、ふるさとの森一〇周年会員の集い
- 一〇月、町内小・中学校へ温蔵庫設置
- 一〇月、商業統計通産省表彰授与式
- 十一月、久万高原駅起工式
- 十一月、西森勲氏勲五等瑞宝章受章
- 十一月、久万町特別功労者表彰式（三名一団体）
- 十二月、レストパーク明神オーブン
- 十二月、みどりのふるさと環境フォーラム開催
- 十二月、「みどりは友だち木のノート」発行

西暦	年号	事項
一九九四	平成 六年	<p>県内では、異常気象のため、冷夏・長雨、台風が相次いだ。国内では、細川連立政権が誕生し、自民党の単一支配に幕が下ろされた。米の自由化を受け入れ農政の大転換となった。プロサッカークリーグ（Jリーグ）がスタートした。七月には、北海道南西沖地震が発生し、奥尻島では津波と火災で死者一七二人を出した。皇太子結婚の儀が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○二月、久万商店街街路灯完成式 ○三月、平成五年度愛媛放送賞受賞 ○三月、第一回久万町長杯ラグビー大会 ○三月、中村簡易水道落成式 ○四月、みどりのふるさと留学制度創設 ○四月、久万簡易水道高山浄水場落成式 ○四月、自治大臣表彰祝賀会（まちづくり一般部門受賞） ○四月、公共施設合同落成式（菅生大宝住宅、久万高原駅） ○六月、三八〇号線父野川バイパス竣工式 ○六月、国民宿舎テニス場落成式 ○六月、ファクシミリネットワークシステムオープン ○六月、石丸剛氏文部大臣表彰受章 ○七月、まんまる木星探険隊交流事業開始 ○八月、畑野川終末処理場起工式 ○八月、二名地区集落排水事業起工式 ○九月、二名小学校山村留学生来校

西暦	年号	事項
一九九五	平成 七年	<ul style="list-style-type: none"> ○九月、二名簡易水道起工式 ○九月、明神小学校起工式 ○九月、畑野川地域食材施設起工式 ○一〇月、久万町立入野福祉館起工式 ○一〇月、パステルファーム起工式 ○十一月、菅生団地起工式 ○十一月、猪瀬理氏勲二等瑞宝章受章 ○十二月、くまっこホットライン相談開始 <p>県内では、異常洪水で長期断水となった。大江健三郎氏にノーベル文学賞が授与され、郷里の内子町でも祝賀会が催された。国内では非自民政権が崩壊、自民・社会・さきがけで村山政権が誕生した。名古屋で中華航空機が墜落、炎上し、二六四人が死亡した。海外では、北朝鮮の金日成首席が死去し、権力は金正日氏へ移った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一月、愛媛県知事選挙 ○二月、畑野川林道落成式 ○二月、樫ノ木集会所落成式 ○二月、壮年会二〇周年記念式典、祝賀会 ○三月、国民宿舎二〇周年記念式典 ○三月、畑野川地域食材供給施設落成式 ○四月、「わたしたちの久万町」発刊 ○四月、下河合集会所落成式 ○四月、久万町公共施設合同落成式（入野福祉会館・畑野川農集）

一九九六	平成 八年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四月、明神小学校校舎落成式 ○ 四月、明神・畑野川・直瀬幼稚園三年保育開始 ○ 四月、町長、町議会議員選挙 ○ 五月、愛媛銀行久万支店新店落成式 ○ 七月、衆議院議員総選挙 ○ 八月、中国雑技団公演 ○ 九月、株式会社「いぶき」郡内広域化 ○ 一〇月、畑野川簡易水道起工式 ○ 一〇月、特定公共賃貸住宅菅生団地起工式 ○ 十一月、河野修町長自治大臣表彰 ○ 十一月、し尿処理施設起工式 ○ 十一月、観光協会一〇周年記念式典 ○ 十一月、パステルファーム落成式 <p>この年、一月一七日、阪神・淡路大震災が発生。マグニチュード七・二。死者六、三〇〇人以上の大被害をもたらした。全国から三五万人のボランティアが駆けつけ活躍をした。三月には地下鉄で猛毒サリンが撤かれ、死者一二人。オウム真理教の施設を強制捜査。その後麻原はじめ、幹部・信者一四人を逮捕した。野茂英雄投手が大リーグ・デビューを果たした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一月、B & G 海洋クラブ員交流会（スキー） ○ 二月、中学校統合調印式 ○ 三月、壮年会野尻分会結成大会 ○ 三月、久万町体育協会二〇周年記念式典 ○ 三月、にこにこ館落成式 ○ 四月、乳幼児学級開設
------	-------	---

一九九七	平成 九年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四月、直瀬郵便局落成 ○ 四月、明神ライスセンター起工式 ○ 四月、公営住宅菅生団地落成式 ○ 四月、二名簡易水道落成式（瀬戸浄水場） ○ 四月、ふるさと旅行村電気自動車記念式典 ○ 五月、大西利康氏藍綬褒章受章 ○ 六月、図書館起工式 ○ 七月、河川清掃久万川 ○ 八月、台風一二号災害対策本部設置 ○ 一〇月、公共下水道起工式 ○ 一〇月、全国へき地教育研究大会（直瀬小） ○ 一〇月、衆議院議員総選挙 ○ 十一月、ふるさと林道整備事業御調練起工式 <p>県内では、小選挙区比例代表並立制で初の衆院選では自民が四議席を独占した。夏の甲子園決勝戦で松山商が日本一になる。国内では、官僚の事件や不祥事が相次いだ。薬害エイズ訴訟の原告団に対し、菅直人厚相が九丹の責任を認めた。沖繩米軍基地縮小で日米両国政府が合意した。また学校給食が原因で0・157による集団食中毒が発生した。携帯電話やPHSが流行し始めた。海外では、ベルーで日本大使公邸人質事件が起こった。またイギリスで狂牛病による人への感染が公表された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二月、農業公園起工式 ○ 二月、桂町で住宅火災 ○ 二月、広域基幹林道上林トンネル起工式
------	-------	--

西暦	年号	事項
		<ul style="list-style-type: none"> ○二月、直瀬中五〇周年記念式典 ○二月、嵯峨山交差点起工式 ○三月、「おばあちゃんのまちおこし談義」 ○四月、し尿処理場落成式 ○四月、無人ヘリオベレーター講習会開校式 ○四月、上直瀬集落排水起工式 ○五月、久万高原ツアー ○五月、あつぶるハウス久万開所式 ○六月、環境フォーラム ○六月、大崎武氏勲五等瑞宝章受章 ○七月、久万町立図書館開館 ○七月、全国生涯学習まちづくり研究大会（西日本研究大会） ○八月、露峰簡易水道施設起工式 ○八月、老人保健施設起工式 ○八月、久万中学校起工式 ○九月、台風一九号災害対策本部設置 ○十一月、落合ふれあい館起工式 ○十一月、ふるさと村二〇周年記念式典 ○十一月、父野川加工用地造成起工式 ○十一月、地方自治法五〇周年記念式典 <p>この年、県内では福田和子容疑者が時効直前に逮捕された。また河野兵市さんが北極点単独徒歩到達した。国内では大手金融機関が相次いで破綻した。また神戸連続児童殺傷事件で中三生が逮捕され、少年法の在り</p>

西暦	年号	事項
	一九九八 平成一〇年	<p>方が論議された。海外では、ペルー人質事件が、一二七日目に武力解決した。香港が英から中国に返還された。またイギリスのダイアナ元妃が交通事故死した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三月、山之内仰西翁三〇〇回忌式典 ○四月、久万小学校特殊学級設置 ○四月、久万広域森林組合発足 ○四月、栗原正明氏勲六等单光旭日章受章 ○七月、落合ふれあい館落成式 ○七月、久万中学校体育館起工式 ○七月、老人保健施設あけぼのオープン ○八月、久万高原ジャズライブ ○九月、全国レクリエーション大会INえひめオリエンテーリング実施 ○一〇月、久万町生涯スポーツフェスティバル一九九八実施 ○一〇月、台風のため久万町災害対策本部設置 ○十一月、公共下水道久万浄化センター起工式 ○十一月、久万町合併四〇周年記念式典 ○十一月、元町会議員篠浦弘明氏、和田藤平氏葬儀 ○十二月、愛媛朝日放送、役場屋上施設工事 <p>県内では、三五年ぶりに保守が分裂し、異例づくめの知事選であった。また来島海峡大橋工事で、けたが落下し七人が死亡した。県美術館、えひめこども城がオープンした。国内では、和歌山毒物カレー事件で四人死亡。林真須美容疑者が逮捕された。大手銀行が</p>

一九九九 平成一二年

経営破綻をした。長野冬季五輪で日本選手が大活躍をした。海外ではアジアの経済危機が世界へ波及し、国際金融体制を揺さぶった。またインドとパキスタンで核実験が行われた。

- 一月三日、県知事選挙投票日
 - 一月、直瀬で山林火災
 - 一月、ポイスカウト発団式
 - 一月、久万広域森林組合大規模加工施設起工式
 - 三月、古町で住宅火災
 - 三月、久万・畑野川・直瀬・父二峰中学校閉校記念式典
 - 三月、統合久万中学校落成式
 - 四月、統合久万中学校開校式・入学式挙行
 - 四月、久万幼稚園三年保育開始
 - 四月、愛媛県議会議員選挙
 - 四月、久万町公共施設合同落成式（農業公園、畑野川簡水）
 - 四月、河野修町長離任、玉水寿清町長就任
 - 四月、畑野川簡易水道落成式
 - 五月、直瀬簡易水道起工式
 - 五月、農業公園アグリピア開園式
 - 七月、「田舎いっばい体験inくま」事業実施
 - 八月、久万中学校屋外教育環境整備事業完成
 - 十一月、NHKのど自慢が久万中学校で実施
 - 一二月、河野修氏勲四等旭日小綬章受章
- 県内では瀬戸内しまなみ海道が開通し、ブーム後の

二〇〇〇 平成一二年

集客が課題となった。加戸守行氏が県知事に、中村時広氏が松山市の市長となった。国内では、東海村で国内初の臨界事故が起こり、周辺住民も一時避難をした。初の脳死移植が行われた。神奈川県警始め、他県警不祥事が相次いだ。海外では、欧州で単一通貨のユーロが誕生した。またトルコ・台湾で大地震が発生し二万人以上が犠牲になった。

- 三月、農業公社発起人会
 - 四月、父二峰小学校特殊学級設置
 - 四月、「三出会いウィーク」体験事業開始
 - 四月、生涯学習出前講座開始
 - 四月、照葉の森記念植樹
 - 五月、露峰簡易水道落成式
 - 六月、衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査、参議院議員補欠選挙
 - 八月、広域基幹林道上林河之内線竣工式
 - 八月、菅生で民家が火災
 - 九月、久万中学校歩道橋開通式
 - 九月、農業公社設立総会
 - 九月、三坂道路起工式、祝賀会
 - 九月、農村アミニティシンポジウム
 - 一〇月、第一一回全国森林サミット
- 県内では、県警の不祥事が相次いだ。Xハイウェイが開通し、四国の四県都が三時間圏内になった。市町村の合併思案が発表された。国内では、一七歳少年の凶悪事件が続発し、少年法が改正された。噴火・地

西暦	年号	事項
二〇〇一	平成一三年	<p>震・大水害が相次ぎ、三宅島住民の避難生活が長期化した。「iモード」が爆発的にヒットし、インターネットが本格普及となった。海外では韓国と北朝鮮の首脳会談が分断五年目を実施された。</p> <p>〇一月、広報「くままち」広報紙町村立部特選受賞</p> <p>〇一月、久万町入野福祉館長森川照雄氏厚生大臣表彰</p> <p>〇二月、高山集会所落成式</p> <p>〇二月、峠御堂で火災発生</p> <p>〇二月、松山市農協トマト部会三〇周年</p> <p>〇三月、東明神皿木で住宅火災</p> <p>〇三月、芸予地震発生。震度五。災害対策本部設置</p> <p>〇三月、久万浄化センターせせらぎ神事及び通水式</p> <p>〇四月、松山市農業協同組合トマト選果場改良工事落成式</p> <p>〇四月、前河野修町長合同葬（久万中体育館）</p> <p>〇五月、久万高原やまなみ街道フェスティバル</p> <p>〇六月、IT講習会始まる</p> <p>〇六月、小田慶孝元県議会議長勲四等瑞宝章受章</p> <p>〇七月、NHK夏期巡回ラジ体操（久万中グラウンド）</p> <p>〇七月、参議院議員選挙</p> <p>〇八月、久万ライオンズクラブ創立三五周年記念式典</p> <p>〇八月、久万中学校モニュメント除幕式</p> <p>〇九月、上浮穴郡町村議会合併研究協議会</p>

西暦	年号	事項
二〇〇二	平成一四年	<p>〇一〇月、合併地域懇談会</p> <p>〇一二月、幽谷上人忌法要</p> <p>〇一二月、高門頼子氏勲六等宝冠章受章</p> <p>〇一二月、父二峰幼稚園設置認可</p> <p>〇一二月、東明神小皿木で住宅火災</p> <p>県内では、えひめ丸がアメリカの原子力潜水艦に衝突され沈没した。また芸予地震で大きな被害がもたらされた。河野兵市さんが北極圏で遭難死した。国内では、小泉内閣が発足した。国内初の狂牛病感染牛が確認された。不況が深刻で、失業者が増えた。また大阪の池田小で児童が殺傷され、八人が死亡した。皇太子ご夫妻に敬宮愛子さまがお誕生になった。海外ではアメリカ同時テロで、死者・不明者が三千人を超した。</p> <p>〇一月、野間副大臣、林野庁長官が林業視察に来る</p> <p>〇二月、かみうけな任意合併協議会設置</p> <p>〇二月、ホテル交流館落成式</p> <p>〇四月、久万町森林再生支援事業スタート</p> <p>〇四月、父二峰小学校校舎・幼稚園舎新築落成</p> <p>〇四月、直瀬小学校特殊学級設置</p> <p>〇五月、下畑野川で住宅火災</p> <p>〇六月、かみうけな合併協議会設置</p> <p>〇八月、元教育長小椋秀雄氏葬儀</p> <p>〇一〇月、生涯スポーツフェスティバル二〇〇二開催</p> <p>〇十一月、ごみ処理施設改良工事竣工式</p> <p>〇十一月、檜垣伸翁を顕彰する総会</p>

	<p>二〇〇三 平成一五年</p>
<p>○一月、農業集落排水父野川、露峰地区処理施設起 工式</p> <p>県内では、県立中高一貫校に扶桑社版教科書が採択された。えひめ丸事故三三家族の賠償交渉が決着へ向った。国内では、初の日朝首脳会談が行われ、拉致被害者五人が二四年ぶりに帰国した。日韓共催でサッカーW杯が開催され、日本チームが決勝トーナメントに進出した。ノーベル賞で小柴昌俊氏、田中耕一氏が初のダブル受賞となった。海外では、イラクの大量破壊兵器開発疑惑で国連の査察が展開された。世界同時株安になり、IT不況も続いた。北朝鮮を脱出した家族が、中国の日本総領事館に駆け込み、韓国へ亡命した。</p> <p>○一月、菅生で民家が火災</p> <p>○一月、県知事選挙</p> <p>○一月、第一測量株式会社 紺綬褒章受章</p> <p>○二月、大雪による災害対策本部設置</p> <p>○三月、上尾峠久万線開通式</p> <p>○三月、「石の民俗文化財」発刊</p> <p>○三月、第三七回愛媛県クラブ対抗駅伝競走大会開催</p> <p>○四月、「ふるさとの森事業」契約解除</p> <p>○四月、畑野川小学校特殊学級設置</p> <p>○四月、久万町長・町議会議員選挙告示。無投票当選</p> <p>○六月、統計事務所久万出張所閉庁式</p> <p>○七月、久万山五神太鼓創立二〇周年記念大会</p> <p>○七月、直瀬簡易水道落成式</p> <p>○八月、三坂トンネル起工式</p>	

<p>二〇〇四</p>	<p>平成一六年</p>
<p>○九月、愛媛県総合防災訓練実施</p> <p>○九月、農業集落排水父野川、露峰地区処理施設併用開始</p> <p>○九月、愛媛県武道館落成式</p> <p>○十一月、第四三回衆議院議員総選挙、最高裁判所裁 判官国民審査</p> <p>○二月、かみうけな合併協議会合併協定調印式</p> <p>○二月、社会福祉協議会合併契約調印式</p> <p>○二月、下直瀬処理施設起工式</p> <p>県内では、光センサー選果機不正入札の発覚が相次いだ。合併問題が迷走している中、新生新居浜市がスタートした。国内では、イラク戦争開戦後日本人外交官が初めてイラクで殺害された。また衆院選で自民、民主の本格的な二大政党時代に入った。長崎で幼稚園児が中学一年生の少年に殺害されるなど、凶悪犯罪の低年齢化や少年が巻き込まれる事件が目立った。海外では、米英軍がイラク戦争を開始し、フセイン元大統領を拘束した。また新型肺炎（SARS）が猛威をふるい、死者は七〇〇人以上に達した。北朝鮮の核開発で六カ国協議が行われた。</p> <p>○一月、公的個人認証サービス開始</p> <p>○三月、久万スピリッツクラブ誕生</p> <p>○五月、四九四・三三元気塾発会式</p> <p>○六月、大西利康氏瑞宝及光章受章</p>	

あとがき



このたび、平成の大合併とも言われる町村合併に伴い、平成十六年七月末日の閉町を記念して、久万町誌増補改訂続編版が発刊されますことは、真に喜ばしい事であり、同時に意義ある事だと思えます。

前回の増補改訂版発刊から、わずか十五年を経過したばかりですが、実に多くの変遷があり、あまりにも急激な時代の流れの速さに驚くばかりです。この激変は単なる時間的、量的な変化では量り切れない、質的な変化の実に多いことにも、驚かざるを得ませんでした。

本誌の発刊に当たっては、町村合併等にもなう諸行事を始め、諸事情等に忙殺され、ついつい企画が立ち遅れ、時間的にも予算的にも十分なゆとりと備えが無いままの企画となり、内容においても、平成元年以来合併までの十五年間の内容に厳選したため、利用に当たっても前回発刊の久万町誌を併用していただかねばならない不便さもあり、御活用いただく方々に大変ご迷惑をお掛けする事を申し分けなく思っています。

編集に当たっては、大変短期間で十分に資料収集・内容の吟味ができない条件下でございましたが、町内でその道に精通されている方々に大変ご無理なお願いをし、取り組んでいただきました。

編集委員の皆さんは、大変好意的にご理解いただき、早速意欲的に取り組んでいただきました。お陰様で予想をはるかに上回る多くの資料の収集と整理に取り組んでいただき、このように充実した内容の町誌を発刊できますことを、有り難く心から感謝しています。

勿論専門的な視点で、つぶさにご覧いただいたら、部分的には不備な点もあるのではないかと心配もしていますが、お気づきの点は遠慮なくご指摘いただくと共に、ご寛容いただいで御活用いただきたく存じます。

本年七月末日の閉町を思えば、今ここに久万町誌として、町政の動きや、町民の活動を整理して記録に残しておくことは、我々の

重要な責務でもあり、また、将来久万町の輝かしい歩みをひもとく必要が生じた時に、大いに役立つ事を確信しています。

久万町の閉町は、単なる寂しい閉町ではなく、時代の流れに沿った、新しく大きく飛躍するためのステップと受け止めたいと思います。久万町の輝かしい歩みは、八月一日に誕生する新久万高原町の中にしっかりと根を下ろし、更に逞しく成長するものと信じています。

久万町の発展のために献身的にご努力いただいた、多くの関係者を始め町民のみなさんの尊い歩みに、深甚なる感謝の真を捧げます。また、新久万高原町の繁栄を祈念し、お忙しい中にもかかわらず、骨身を惜しまず編集にお取り組みいただいた、編集委員の方々・資料提供等御協力いただいた皆様に心より御礼を申し上げご挨拶と致します。

平成十六年七月吉日

久万町誌編集副委員長
久万町教育委員会教育長

西田友三